

School Life in 千秋 Vol.37

●●●●●●●● 第75回 卒業証書授与式 ●●●●●●●●

○日時 令和5年3月1日(水) 午前10時

○次第 開式のことば 副校長
国歌
卒業証書授与 237名 代表 3年D組 藤井 万琴
式 辞 校長
祝 辞 秋田県知事 佐竹 敬久 様
祝電祝詞披露
送 辞 現生徒会長 2年A組 会場 翔
答 辞 前生徒会長 3年C組 中川 菜花
校 歌
閉式のことば 副校長

○来賓 秋田県知事 佐竹 敬久 様
秋田県教育庁高校教育課課長 佐藤 進 様
あげまき会会長 青山 恵子 様
あさひ会会長 長谷川 尚造 様
むつみ会会長 荻原 慎太郎 様
前校長 木浪 恒二 様



卒業証書授与



校長式辞



祝辞 秋田県知事 佐竹 敬久 様



現生徒会長 送辞



前生徒会長 答辞

秋田県農林水産部秋田米ブランド推進室より
卒業記念品としてサキホコレと
知事からのメッセージカードをいただきました。



校長式辞

▼お祝いとお礼

降り積もった雪が凍るほどの厳しい寒さの中、時折降り注いだ日差しに春を待ち望んだものでした。

北高の建つここ千秋中島にも、春の兆しを感じられ、旅立ちの時を迎えました。太平の山並みもいっそう凜として、みなさんを祝福しているようです。

本日ここに、秋田県知事佐竹敬久様秋田県教育庁高校教育課長佐藤進様、あげまき会会長青山恵子様、あさひ会会長長谷川尚三様、むつみ会会長荻原慎太郎様、前校長木浪恒二様、そして多数の保護者の皆様の御臨席を賜り、令和四年度、秋田県立秋田北高等学校第七十五回卒業証書授与式を挙行できますことは、誠に喜ばしい限りであります。卒業生のみなさん、そして、温かく見守りいただいた御家族の皆様、おめでとうございます。教職員一同、心より、お祝い申し上げます。

▼はなむけ

北高入学前に突如出現した新型コロナウイルスが猛威と変異を繰り返し、人類に挑み続け、感染の拡大防止に、北高の学びを支えるすべてが心を注ぎ、三年が経ちました。卒業生は、この三年、コロナ禍に見舞われ、本来の姿とは大きく異なる「密を避ける」というあまりに理不尽な高校生活を強いられてきました。対応策が時と共に変わり、八回にも及ぶ感染の大きな波にもまれての毎日でしたが、社会情勢をよく見定め、家族の支えをはじめ教職員の教えを真摯に受け止め、自身の健康と安全を最優先にした日々でした。心の中は決して穏やかではなく、不平や不満もあったことと思いますが、冷静に、科学的かつ論理的に、共に考え行動し、新しい学びの形をつくりあげ、卒業という大きく大切な節目を迎えることができました。不自由なこともあった中ではありますが、振り向けばそこには確かな轍が描かれ、一人一人が大きく成長した姿がここに 있습니다。この先の長く険しい人生という道を歩む時、この三年間の学びは、かならずや代えがたい糧の一つになるものと確信しております。

今この場にいること、証書を手にできたこと、それは、みなさんの努力の賜によるものですが、その努力のために力を注いだ多くの人を思い浮かべ、お礼を述べていただきたいと思います。物心両面に渡る支え、元気づけられた言葉、勇気をもった演技やプレー、共に泣き、笑い合った仲間。そのすべてを大切な宝物にすると共に出会ったすべての人に、感謝してください。

衣食足りて礼節を知る、と言います。基本的な生活習慣のもと、心身共に健康な人生を送ってください。望みの花を高く掲げ、人任せにすることなく、自分事として、真、善、そして美を追求するように心がけてください。また、ICTをはじめとする技術革新が進む中、ふるさと秋田、日本、そして世界をつくりあげる者としての力と技と心をいっそう高めるべく、生涯にわたって、これまで以上に意欲的に学び続け、未知なる課題に挑む「たくましい知性」、周りの人から学んで高め合う「響き合う知性」、多様な価値観を理解する「しなやかな感性」を養い続け、よりよい答えを導くように努めてください。あわせて、北高祭のテーマにあるように才能を輝かせ、豊かな個性をつくりあげ、一層磨き上げてください。

みなさんが直面する社会は、先行きが不透明で、将来の予測が難しい状況にあることは疑いのないことです。だからこそ、まじめに取り組むことが大切です。「勤勉は幸運の母である」と言います。目先の成果にとらわれすぎることなく、十年、二十年先を見据え、人と交わりながら常に学び、ゆっくりとでもいいですから前に進み、生き抜いてください。

▼保護者、御家族のみなさまへ

御臨席の保護者、ご家族の皆様。

百二十年を超える豊かな歴史と伝統を誇る秋田北高校での学びを終えて巣立つ卒業生は、立ちほだかる数多の課題解決に責任を果たしていくことを期待しております。今日に至るまでの御家族の御労苦に思いをはせる時、これからも人生の先輩として、悩みや苦しみを受け止め、語り合い、励まし、時に諫め、そして、睦み合って、親子の絆を紡ぎあげ、互いを思い、幸せをつくりあげることをお祈りいたします。あわせて、北高の教育方針に御理解と御協力をいただいたことに厚く御礼申し上げるとともに、これからもお子様の母校である北高のためにお力添えをいただければ幸いです。

結びに、巣立ちゆく卒業生が一度きりの人生を力強く堂々と歩むことを心から願うとともに、この晴れの日を祝うすべての方々に、改めて深く感謝申し上げます、式辞といたします。

令和5年3月1日

秋田県立秋田北高等学校長 永井 元